

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大宮北保育所	階数	地上1F
建設地	京都府京丹後市大宮町河辺4713番	構造	木造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	300 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	4,400 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年6月1日
敷地面積	9,141 m <sup>2</sup>	作成者	共同設計株式会社
建築面積	2,736 m <sup>2</sup>	確認日	2011年6月1日
延床面積	2,569 m <sup>2</sup>	確認者	共同設計株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地の方位を考慮し、保育室は全室南向き配置となるような計画とする。 ハイサイドライト(高窓)の設置等による自然採光、自然換気が容易に行える計画とする。平面的にも形態的にもシンプルなデザインとすることで、管理がしやすく、雨漏り等のないメンテナンスが容易な施設とする。	その他
Q1 室内環境	居室、廊下等ほとんどの室において複層ガラスを使用しており、結露防止対策と共に建物の断熱性能を高めている。 ・保育室や遊戯室、エントランスホールなどは天井を高	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	保育室や遊戯室、エントランスホールなどは天井を高くして、ハイサイドライト(高窓)を設置し、自然採光・自然換気が容易に行える空間構成としている。換気設備には全熱交換器を採用しており、排熱回収することによって空調機の負荷を減らすことができるため、機器の能力	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	保育所来客(保護者)用43台の内2台分を、子育て支援・放課後児童クラブ用18台の内1台分を、車椅子利用者用駐車場として整備している。敷地内及び建物内は原則段差なしとし、段差のある部分にはスロープを設置して、高	Q3 室外環境(敷地外)
LR2 資源・マテリアル	木材の積極的な使用は、森林の再生を促進し、製造加工時のエネルギー消費量の少くすることでCO <sub>2</sub> 排出量の抑制を図った。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される